

王子ホール+観世宗家監修

銀座の飛脚

一丈もろ七



天人 武田宗典

ヴァイオリン 篠崎史紀

ソプラノ 森谷真理

書:藤田雄大(王子ホールロビーにて藤田雄大展を開催)

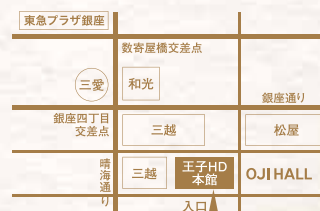
2019年7月23日(火) 18:00開演 (17:30開場)

会場:王子ホール

交通のご案内/JR 有楽町駅下車 銀座口より徒歩7分・地下鉄 銀座駅下車 A12出口より徒歩1分・地下鉄 銀座一丁目駅下車 9出口より徒歩5分・地下鉄 東銀座駅下車 A2出口より徒歩2分

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-7-5

全席指定 6,000円 <チケット発売日:4月26日(金)>



【主催】文化庁(2019年度戦略的芸術文化創造推進事業)



東京アート&ライブシティ構想実行委員会



お問い合わせ:東京アート&ライブシティ構想実行委員会事務局 03-5909-3068 (芸団協内 平日10:00~18:00)

王子ホール＋観世宗家監修

「はごろも」～銀座の飛翔

今まで見たこともない『羽衣』が夏の銀座の夜に飛翔します。

古今東西、この美しいお伽噺は多くの人を魅了してきました。天女に心を奪われた漁師のように、クラシック音楽もまたこの能に心を奪われ、寄り添い、共に舞う…、そんな夏の月夜の夢を一緒に見ませんか？

1年後の7月24日はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開始されます。競技会場に近い銀座の地は多いに盛り上がっていることでしょう。プレ・オリンピック・イヤーに「東京アート&ライブシティ」がおおくりする、銀座に居を構える観世能楽堂と王子ホールの連携企画第2弾。

シテ(天人): 武田宗典/ワキ(漁師白龍): 森常好

地謡: 岡久広・山階彌右衛門・浅見重好・松木千俊・角幸二郎・木月宣行・武田文志・坂井音晴

後見: 武田宗和・観世芳伸

笛: 杉信太郎/小鼓: 田邊恭資/大鼓: 亀井広忠/太鼓: 小寺真佐人

ヴァイオリン: 篠崎史紀/ソプラノ: 森谷真理

作曲: 加藤昌則

演出: 田尾下哲

舞台: 旅川能楽プロ/照明: 大淵智徳



武田宗典 Munenori Takeda:(能楽師シテ方観世流 Noh player of the Kanze school)

1978年生まれ(公社)能楽協会会員。(一社)観世会理事。早稲田大学第一文学部演劇専修卒。父・武田宗和及び二十六世観世宗家・観世清和に師事。80年初舞台、88年初シテ、以後「石橋」「乱」「道成寺」「望月」等を披く。海外公演多数。2014年シアトルにて、能と現代オペラの二部作『Tomoe&Yoshinaka』を企画、主演を果たす。『武田宗典之会』主宰。舞台公演の他、「謡サロン」等の能楽講座を国内外で開催している。



篠崎“まる”史紀 Fuminori Maro Shinozaki:(ヴァイオリン Violin)

愛称“まる”。NHK交響楽団第1コンサートマスター。3歳より父にヴァイオリンの手ほどきを受ける。15歳の時に毎日学生音楽コンクール全国第1位。高校卒業後ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾り、その後ヨーロッパの主要コンクールで数々の受賞を果たす。1988年帰国後、群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て、97年に34歳でNHK交響楽団コンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍中。96年より東京ジュニアオーケストラサエティの音楽監督、WHO評議会委員を務め、そのコンサートにも熱心に取り組んでいる。2014年、第34回有馬賞受賞。現在、桐朋学園大学及び東京藝術大学非常勤講師、昭和音楽大学客員教授。



森谷真理 Mari Moriya:(ソプラノ Soprano)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院およびマネス音楽院修了。『魔笛』夜の女王でメトロポリタン歌劇場デビュー。その後『トゥーランドット』リユーでの欧州オペラデビューを皮切りに、リッツ州立劇場専属歌手として『ラ・ボエーム』『ラ・トラヴィアータ』など数々の作品に出演のほか、ウィーン・フォルクスオーパーをはじめ欧米主要歌劇場で活躍。国内では、『リゴレット』『ジルダ』『後宮からの逃走』コンスタンツェ、『ラインの黄金』フライア、『ばらの騎士』元帥夫人などを務める。2018年6月には日生劇場『魔笛』パミーナで出演、今後はベルギーフレミッシュオペラ『サティヤ・グラハ』ミス・シュレーゼン、19年東京二期会『サロメ』タイトルロールで出演予定。二期会会員。

【あらすじ】春の朝、三保の松原に住む漁師・白龍(はくりょう)は、仲間と釣りに出た折に、松の枝に掛かった美しい衣を見つけます。家宝にするため持ち帰ろうとした白龍に、天女が現れて声をかけ、その羽衣を返して欲しいと頼みます。白龍は、はじめ聞き入れず返そうとしませんでした。それが無いと、天に帰れない。」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてもらう代わりに、衣を返すことにします。羽衣を着た天女は、月宮の様子を表す舞などを見せ、さらには春の三保の松原を賛美しながら舞い続け、やがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていきました。

2019年7月23日(火) 18:00~20:00 (出演者によるアフタートークあり) 全席指定 6,000円

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990(平日10:00~18:00) 観世能楽堂 03-6274-6579(9:30~17:30)

Confetti(カンフェティ) 0120-240-540(オペレーター対応/平日10:00~18:00) <https://www.confetti-web.com/hagoromo>

Tickets Today 03-6228-1062(平日10:00~18:00) Tickets Today各店舗 <http://ticketstoday.jp/ja/booths>

e+(イープラス) <https://eplus.jp/ginzahagoromo/>

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応/10:00~20:00) <http://l-tike.com/> ローソン・ミニストップ店内 Loppiで直接購入【Lコード:33233】

日比谷・銀座・築地 TOKYO ART & LIVE CITY

この街は、ココロを弾ますパレットだ。

歌舞伎、能楽、演劇、ミュージカル、映画、ギャラリー、ライブハウス…「日比谷・銀座・築地」にはこれら全ての文化・芸術が集積しています。まさに、色とりどりの絵の具を乗せるパレットのような街。多彩な文化が集まるこのエリアでしか体験できない、特別なプログラムをお楽しみください。



TOKYO
ART & LIVE
CITY

詳しくはコチラ > 東京アート & ライブシティ WEB サイト <https://www.artandlive.net>

